アルゼンチン通信

第11号　2025年06月30日発行(毎月月末発行予定)
JICAシニア海外協力隊2024年1次隊:経営管理
玉東町グローカル2024年03月卒業生
鈴木功二　サンティアゴ・デル・エステロ在住

・6月といえば、日本は梅雨、ドイツや英国は晴天続き、タイは雨季をイメージしますが、こちらは真冬です。冬といっても、雪が降ることはごく稀で(ここから南の方のコルドバやブエノスアイレスは雪が降ったようです。)、朝の最低気温は低くても氷点下を少し下がる程度、日中は20℃近くになるので、服装で調整する必要があります。朝は皆、コートやジャンパーを着ているのに、昼過ぎになると半袖の人がいたりします。
・6月は、アルゼンチンの英雄を記念した休日が2日ありました。6月16日(月)はグエメス将軍の命日(実際の命日は6月17日)、6月20日はベルグラーノ将軍の命日で休日でした。ベルグラーノ将軍はアルゼンチンの国旗を制定した人でもあるので、6月20日は「国旗の日」とも呼ばれています。両将軍とも1816年の独立時に活躍した人で、街中には将軍の像があり、通りの名前にもなっています。1810年代は、日本では江戸末期、明治維新で活躍した英雄はいますが、休日にはなっていません。個人が休日になるのは天皇誕生日だけで、英雄への想い入れが国によって違うのが興味深いです。

街の中心部の広場にあるベルグラーノ将軍の像

街の大通り：ベルグラーノ通りの標識

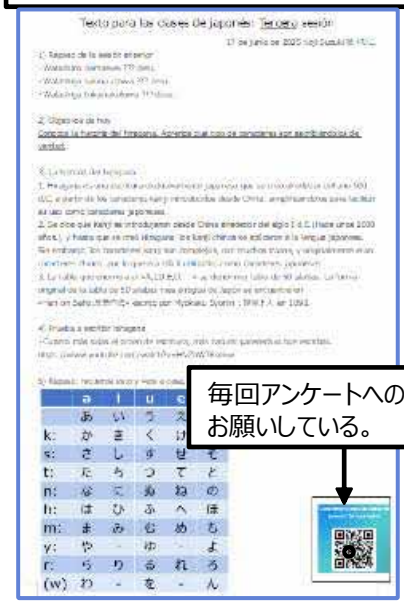
・今回は、私がボランティアで始めた日本語教室を紹介します。
・私の本来の任務は、中小企業の品質改善や生産性向上を支援する組織(INTI)を支援することなのですが、日常生活では、日本とアルゼンチン両国の歴史/文化等を紹介し合うセミナーや日本料理を作って食べる会等を企画して、地域の人々と親しみ、生活の質を良くすることに貢献することも任務の一つと捉えています。こちらで暮らしてみると、日本の文化や日本語に興味を持っている人がいることがわかり、例えば、知り合った地元の人の名前を、カタカナやひらがな、漢字で書いてあげると、すごく喜んでくれます。
・アルゼンチンは、ブラジルほどではありませんが、日系の社会(先祖が日本人の社会)があります。私が暮らしている市に日系人会のような組織はありませんが、日系の人がいて、日本名も持っておられます。その人達と親しくなる中で、日本に興味を持っていることが判り、「日本語教室」を始めることにしました。私は、日本語教師の資格を持っていませんが、日本語教師養成講座を受講したことがあり、また、予備校で英語講師として6年間勤務、玉東町ではグローカル活動として「一カ月限定の英語教室」を開催したことがあります。
・「日本語教室」の目的というか方向性について、特に地方都市では日本語を使う機会がないので、日本語の習得は目指してはいません。日本語の語源や背景を伝える中で日本人的な想いを知る、例えば、スペイン語にはない挨拶の「いってらっしゃい。」は、「行く」と「来る」という2つの要素が組み合わさってできた言葉で、相手が無事に出かけて帰り、再会を期待する気持ちが込められている言葉と説明することにより、日本人の考え方を伝えることを目的にしました。
・日本語だけではなく、日本の文化を紹介、例えば、茶の湯をプレゼンテーション資料で説明して、実際に抹茶を試飲していただきました。また、花火について、地元新聞記事の誤解、日本の花火の歴史、表面的な美しさだけで終わるのではなく、その歴史を辿っていくと、その裏には、先祖供養や戦没者の鎮魂、災厄除けや五穀豊穣等の祈願といった元々の目的があることをプレゼンテーション資料にまとめて説明したりしました。
・最初は、1回1時間で始めたのですが、参加者の要望に応えて、今は1回2時間です。
・教室は私が住んでいるアパートの最上階にある多目的室を使い、毎回作成、配付しているテキストのコピー代は、ありがたいことに、私の配属先(INTI)が負担してくれています。
・今の最大の課題は、私のスペイン語能力が不十分なことです。授業後、参加者の議論についていくことができるように、私は日々スペイン語の学習に取り組んでいます。
・対象は、今のところ、日系の大人の人だけですが、日系の青少年や日系以外の地元の人も、日本の文化や日本語に興味を持っていることが判っているので、今の日本語教室を継続しつつ様子を見ながら、日本語教室の輪を広げていこうと考えています。

直近の時間割表

時間	内容
19：00～19：30	・前回の復習((アンケート結果に基づき、復習の時間を長くしました。)
19：30～20：30	・日本語のひらがなを書いてみましょう。 例えば、a:あ, i:い, u:う, e:え, o:お。
20：30～20：45	・なぜ、アンケートへの回答が必要なのか? 日本語教室のPDCA
20：45～20：50	・今日の復習
20：50～20：55	・次回の授業について
20：55～21：00	・アンケートへの回答
21：00～	・質疑応答、その他

日本語教室の授業風景

毎回作成、配付するテキストの一例



毎回アンケートへの回答をお願いしている。

茶の湯について説明後、抹茶の試飲

(スペイン語版を同時配信)

鈴木功二